

## 2学期のスタート！

8月7日（金）1学期終業式から2週間の夏休み期間が終了して、2学期がスタートしました。通常より早い始まりですが、3月から5月までの休業期間を考えると教育課程を終了するためにはぎりぎりの日程となります。今後も、1学期同様に新型コロナウイルス感染拡大防止に心がけながら、学校生活を充実させていきます。また養護教諭や各学年教師とともに、保健管理体制を整備しながら、授業時間や給食時間、休み時間、登下校時の生徒等の行動の見守りなどを含め学校全体として取り組みを進めていきます。

下記に新型コロナウイルス感染拡大防止に関する内容を記載しています。再度確認していただき、保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いします。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止「新しい生活様式」

学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭の協力が不可欠です。

例えば、家族に発熱、咳などの症状がありPCR検査等の受診を考えている場合は、生徒の登校を控えさせる。また、休日において不要不急の外出を控える、仲の良い友人同士の家庭間の行き来をできるだけ控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど、学校を通じた人間関係の中で感染が広がらないよう細心の注意をお願いします。

登校の際には家庭内での健康管理としての検温だけでなく、感染症対策用の持ち物として、清潔なハンカチやティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布等の準備や持参の指導をお願いします。発熱等の風邪の症状がある場合には、自宅で十分に休養をとらせて下さい。登校時や学校生活を過ごす中で、発熱等の風邪の症状がみられる場合には、生徒を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅で休養するよう指導します。

新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。感染経路を絶つためには、①手洗い、②咳エチケット、③清掃・消毒が大切です。接触感染の仕組みについて児童生徒等に理解させ、手指で目、鼻、口をできるだけ触らないよう指導するとともに、接触感染を避ける方法として、手洗いを徹底します。

様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、登校時や外から教室等に入る時やトイレの後、給食（昼食）の前後など、こまめに手を洗うことが重要です。手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗います。また、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとして、共用はしないように指導します。

感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることが大切です。特に、学校教育活動においては、生徒及び教師は、身体的距離が十分とれないときはマスクを着用する必要があります。ただし、体育の授業中や気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、他者と一定の距離をとってマスクを外すように指導します。

新型コロナウイルスは感染症ですので、感染することはあります。学校の取り組みは、拡大防止の取り組みです。感染者を多く出さない、感染拡大を防止するためにも、家庭と学校が一体となって取り組みを推進していきたいと考えています。よろしくをお願いします。

手洗いの方法	残存ウイルス数 (残存率)*
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

\*:手洗いなしと比較した場合  
出典  
森功次他・感染症学雑誌, 80:496-500,2006

